

菅原 憲一（大学院保健福祉学研究科兼務）

1. 著書

- 1) 共著, 菅原憲一・松田雅弘 編集, 2024年12月, 日本語, 標準理学療法学 物理療法第6版, I 物理療法学総論 1. 歴史と今後の課題・展望, V 電気刺激療法 経頭蓋磁気刺激の基礎 その他, 医学書院, 2-10, 157-160

2. 学術論文

- 1) 原著論文, 責任著者, Tomoya Kokue, Yuma Takenaka, Yuga Matsue, Masayuki Tsuchida, Kenichi Sugawara, 2024年04月, 英語, Changes in acceleration and deceleration factors associated with active gait speed adjustment, 査読あり, The Journal of Physical Therapy Science, 2024 Vol 36, 226-233, <https://doi.org/10.1589/jpts.36.226>
- 2) 原著論文, 筆頭著者・責任著者, Kenichi Sugawara, Yuma Takenaka, Tomotaka Suzuki, 2024年04月, 英語, Effects of sensory afferent input on motor cortex excitability of agonist and antagonist muscles, 査読あり, Behavioural Brain Research, 2024 Vol464, 114-146, <https://doi.org/10.1016/j.bbr.2024.114946>
- 3) 原著論文, 責任著者, Yuma Takenaka, Yuka Tomisakim, Ittetsu Hirose, Kenichi Sugawara, 2024年04月, 英語, Effects of Motor Learning on corticospinal tract excitability during motor imagery, 査読あり, Perceptual and motor skill, 2024 Vol 131, 2023-2044, DOI: 10.1177/00315125241275212

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 共同研究者, 渡邊英奈, 佐々木亮樹, 菅原憲一, 鏡による身体所有感の変化が一次運動野の興奮性に及ぼす左右差の影響, 第29回日本基礎理学療法学会, 2024年10月
- 2) ポスター, 責任者, 山田美祐, 竹中悠真, 菅原憲一 他, 動作観察と運動イメージを用いた運動練習が運動の滑らかさに与える影響, 第29回日本基礎理学療法学会, 2024年10月
- 3) ポスター, 責任者, 前田賢太郎, 竹中悠真, 菅原憲一 他, 運動イメージの客観的評価における皮質脊髄路興奮性の有効性, 第29回日本基礎理学療法学会, 2024年10月
- 4) ポスター, 共同研究者, 佐々木亮樹, 菅原憲一 他, メタ解析による知覚学習効果の検証, 第29回日本基礎理学療法学会, 2024年10月
- 5) ポスター, 責任者, 小久江智耶, 菅原憲一 他, 音刺激による歩行速度変化誘導時の運動学的制御, 第29回日本基礎理学療法学会, 2024年10月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本基礎理学療法学会, 評議委員, 2021. 9. 16～

- 2) 三浦市障害者介護給付等の支給に関わる審査委員会, 審査委員, 2020. 4. 1～
- 3) 日本基礎理学療法学術大会, 演題査読委員, 2024. 4. 1
- 4) 日本理学療法学会連合, 理学療法学, Physical therapy science編集委員, 2024. 4. 1

6. 社会貢献

- 1) 慶育病院 非常勤理学療法士, 202. 4. 1～

8. 学会等での活動

- 1) 第29回日本基礎理学療法学術大会 一般演題座長, 2024. 10. 13

9. 学内教育活動

1) 学部

基礎運動療法学における視聴覚教材作成、運動療法各種手技に関する演習指導の開発, 2024 . 10

電気生理診断特論における視聴覚教材および実習指導教材作成、実験結果発表指導, 2024. 4

2) 博士前期課程

『運動機能制御学特論および特論演習』における実験方法論および講義視覚教材作成, 2024 . 4

指導教員 (M1:2名) , 2024. 4. 1

3) 博士後期課程

『リハビリテーション病態解析学特論および特論演習』における実験指導, 2024. 4. 1

指導教員 (D1:1名, D3 : 2名) , 2024. 4. 1

日本学術振興会特別研究員受け入れ, 2023. 4. 1

10. 学内各種委員会活動

- 1) 保健福祉学部学部長, 2023. 4～
- 2) 総務企画委員長, 2023. 4～
- 3) 全学入試委員会委員, 2023. 4～
- 4) 自己評価審査会委員, 2023. 4～
- 5) COI委員会委員, 2023. 4～
- 6) アドミッションセンターセンター長, 2023. 4～
- 7) 内部質保証推進部会部会長, 2023. 4～
- 8) 教学IRプロジェクトリーダー, 2023. 4～
- 9) 教育研究審議会委員, 2023. 4～

11. 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究（C），代表者，菅原憲一，歩行速度調整メカニズムの解明と新たな歩行リハビリテーションプログラムの開発，4,680千円，2023年04月，2026年03月
- 2) 基盤研究（C），分担者，鈴木智高，歩行中の注意負荷量に対応する歩行調節能力，4,030千円，2022年04月，2026年03月

仙波浩幸 （大学院保健福祉学研究科兼務）

1. 著書

- 1) 共著, 平林勝政、小西知世, 2025年01月, 日本語, 健康支援と社会保障④ 看護をめぐる法と制度第6版, 第3章1節 理学療法士及び作業療法士法, メディカ出版, 124-129
- 2) 共著, 斉藤秀之、能登真一, 2025年01月, 日本語, リハビリテーション管理学第2版, 第2章2 身分法と倫理綱領, 医学書院, 71-78
- 3) 共著, 谷岡哲也、沼田周助他, 2025年01月, 日本語, メディカルスタッフのための精神医学, VD 6 精神科における身体的リハビリテーション, 中外医学社, 141-152

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 筆頭者, 仙波浩幸, 精神障害に対する理学療法士の役割, 第61回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2024年06月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本理学療法士協会, 臨床実習指導者講習会講師, 2022. 4～
- 2) 日本理学療法士学会連合日本精神心理領域理学療法研究会, 副理事長, ～2024. 6
- 3) 日本理学療法士学会連合日本精神心理領域理学療法研究会, 監事, 2024. 7～
- 4) 日本リハビリテーション教育評価機構, 評価員, 2016. 4～
- 5) 日本理学療法政策研究会, 理事長, 2024. 10～

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 運営・専攻説明担当, 2022. 4. 1～

7. 講演, 放送

- 1) 2024年度ヒューマンサービス公開講座（秋期）講師, 2024. 10
- 2) 2024年度ヒューマンサービス公開講座（秋期）、講師, 2024. 10

8. 学会等での活動

- 1) 第10回日本精神心理領域理学療法研究会 座長, 2025. 1. 11
- 2) 第41回神奈川県理学療法士会 座長, 2025. 2. 9
- 3) 第61回日本リハビリテーション医学会学術集会 シンポジスト, 2024. 6. 14

10. 学内各種委員会活動

- 1) 理学療法学専攻専攻長, 2024. 4

- 2) 人権・倫理委員会委員長, 2024. 4
- 3) 内部質保証推進部会, 2024. 4
- 4) 学部入試委員会, 2024. 4
- 5) 昇任審査委員会, 2024. 4
- 6) 学科チーフ会議, 2024. 4
- 7) 学科入試小委員会, 2024. 4

15. その他

- 1) 福島県立医科大学非常勤講師
- 2) 東北文化学園大学非常勤講師

内田 賢一（大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務）

1. 著書

- 1) 共著, 内田賢一, 2024年08月, 日本語, 高齢者介護用語・手続辞典, 共生型自立訓練（機能訓練）の事業を行う指定通所リハビリテーション事業者の基準, 新日本法規出版, 140ノ9
- 2) 共著, 内田賢一, 2024年08月, 日本語, 高齢者介護用語・手続辞典, 通所リハビリテーション計画の作成, 新日本法規出版, 240ノ4

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 筆頭者, 内田賢一, 47都道府県士会における理学療法士から地域社会への提言・活動報告ー地域貢献活動（理学療法士派遣）ー, 第59回日本理学療法学術研修大会, 2024年06月
- 2) 口頭, 責任者, 田中康之、山路雄彦、浅川育世、渡辺真樹、森島健、佐藤成登志、佐藤博之、南雲光則、南本浩之、内田賢一、磯野賢, 各士会長が本音で語る、士会の未来. シンポジウム1, 第43回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 2024年10月
- 3) 口頭, 共同研究者, 小泉雅哉、宮崎大樹、土橋聖子、内田賢一, 回復期リハビリテーション病棟における活動量向上にむけた取り組みーレクリエーション再開による活動の変化, リハビリテーション・ケア合同研究大会山梨2004, 2024年10月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) （公社）日本理学療法士協会, 代議員, 2021. 4. 1～
- 2) （公社）日本理学療法士協会, 組織運営協議会委員, 2021. 4. 1～
- 3) （公社）日本理学療法士協会, 協会雑誌Up to date編集部会長, 2022. 4. 1～
- 4) （公社）神奈川県理学療法士会, 会長, 2021. 4. 1～
- 5) 日本理学療法士協会関東甲信越ブロック協議会, 委員, 2021. 4. 1～
- 6) 日本理学療法士協会関東甲信越ブロック協議会, 「働きやすい環境造り検討委員会」委員長, 2023. 4. 1
- 7) （公社）神奈川県理学療法士会, 表彰委員会 委員長, 2021. 4. 1～
- 8) 臨床実習指導者講習会神奈川県協議会, 会長, 2021. 4. 1～
- 9) 神奈川県病院医療関係団体連絡協議会, 委員, 2023. 4. 1～
- 10) （公社）神奈川県病院協会, 学術委員会 委員, 2021. 4. 1～
- 11) 神奈川県医療専門職連合会, 会長, 2023. 4. 1～
- 12) 神奈川県民医療推進会議, 団体理事, 2024. 4. 1～
- 13) （公社）日本理学療法士協会, 第53回代議員総会副議長, 2024. 6. 1

6. 社会貢献

- 1) 横浜薬科大学薬学部臨床薬学科 「リハビリテーション概論」 非常勤講師, 2024. 10. 1～2025. 3. 31
- 2) 14) 鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院 臨床アドバイザー, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 3) 神奈川県立麻溝台高校 系統別説明会, 2024. 6. 10
- 4) オープンキャンパス 運営責任者、入試相談, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 5) 学科別大学説明会 運営責任者, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 6) リハ学科ミニオープンキャンパス春 運営責任者, 2024. 4. 1～2025. 3. 31

7. 講演, 放送

- 1) 日本理学療法士協会指定管理者研修（初級）、神奈川県理学療法士会における組織化の方向性と管理者の協力体制, 2024. 11. 24
- 2) 神奈川県理学療法士会新人オリエンテーション、本会組織と社会活動, 2023. 5. 12
- 3) 県立大学リハビリテーション学科理学療法学専攻・実践教育センター共催「理学療法士による在宅で活用できる呼吸介助」, 2024. 11. 30

9. 学内教育活動

1) 学部

- 生活環境学 講義および視聴覚教材作成、地域環境調査演習, 2024. 9
- 呼吸・代謝系運動療法学 講義および視聴覚教材作成、反転授業, 2024. 4
- 理学療法管理学Ⅱ 講義および視聴覚教材作成, 2024. 4
- スポーツ理学療法学特論 講義および視聴覚教材作成, 2024. 9
- 救命救急学概論 講義および視聴覚教材作成, 2024. 9
- 卒業研究指導（2名）, 2024. 8
- サークル「音楽サークル」顧問, 2024. 4
- サークル「音楽部」顧問, 2024. 4
- 理学療法学専攻4年生 担任, 2024. 4

2) 博士前期課程

- 運動機能障害理学療法学特論 講義および視聴覚教材作成, 2024. 4

10. 学内各種委員会活動

- 1) 学生委員会, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 2) 学部研究助成専門部会, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 3) 進路指導ワーキンググループ グループ長, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 4) 推薦入試 面接官, 2024. 11. 23
- 5) 一般入試前期試験 面接官, 2025. 2. 25

- 6) 病院・施設説明会 運営担当, 2024. 6. 15
- 7) 理学療法学専攻 広報企画班 班長, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 8) 理学療法学専攻 AC会議 , 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 9) 理学療法学専攻 実習検討WG, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 10) 理学療法学専攻 OSCE検討班, 2024. 4. 1～2025. 3. 31
- 11) 県立大学臨床実習指導者講習会 講師&ファシリテーター, 2024. 8. 30～31

島津 尚子（大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務）

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 筆頭者・責任者, 島津尚子 山本澄子, 片麻痺者におけるStep動作の荷重移動の特徴と歩行の関係, 第22回日本神経理学療法学術大会, 2024年09月
- 2) ポスター, 共同研究者, 今野翔太 榊原時生 肥田直人 山本直弥 島津尚子 菅原憲一, 長時間の機能的電気刺激の使用が回復期脳卒中患者の歩行および身体機能へ与える影響: 症例研究, 第22回日本神経理学療法学術大会, 2024年09月
- 3) 口頭, 共同研究者, 山崎菜々子 島津尚子 小池友佳子, 理学療法士が装具療法の熟達に至る経験に関する分析-学習方法に着目して-, 第40回日本義肢装具学会, 2024年11月
- 4) ポスター, 共同研究者, 山崎菜々子 島津尚子 小池友佳子, 理学療法士が装具療法の熟達にあたり影響を受けた経験の分析-下肢装具作製時に着目して-(最終報告), 第13回日本支援工理学療法学会, 2024年12月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会, 学術局新人教育部部員, 2009. 4～
- 2) 公益社団法人神奈川県理学療法士会, 学術局学術編集部査読係係長, 2016. 4～
- 3) 神奈川ボバース研究会, 事務局員, 2013. 4～
- 4) 神奈川リハビリテーション研究会, 幹事, 2014. 4～
- 5) ヒューマンサービス学会, 編集委員, 2023. 7～
- 6) 日本義肢装具学会, 正会員, 2024. 4. 1～

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 準備 , 2024. 7～
- 2) オープンキャンパス 個別相談担当 , 2024. 8.
- 3) ミニオープンキャンパス 運営担当, 2025. 3. 27
- 4) 高校訪問: 山手学院, 2025. 10
- 5) 高校訪問: 新城高校, 2025. 10
- 6) 横浜翠陵高校: 模擬授業, 2024. 12. 9
- 7) 実践教育センター 神奈川らくらく介護研修 (Aコース) 講師, 2024. 9. 2～3
- 8) 実践教育センター 理学療法士による呼吸介助実技演習 講師, 2024. 11. 30

8. 学会等での活動

- 1) 第22回日本神経理学療法学術大会 演題査読, 2024. 6
- 2) 第13回日本支援工理学療法学会 座長, 2024. 12. 7

- 3) 第13回日本支援工学理学療法学会 演題査読, 2024. 8
- 4) 第13回日本支援工学理学療法学会 座長, 2024. 12. 7

9. 学内教育活動

1) 学部

- 感覚運動アプローチ論の視聴覚教材作成, 2024. 4～5
- 中枢神経系運動療法学演習の視聴覚教材作成, 2024. 4～7
- 義肢装具学演習の視聴覚教材作成, 2024. 4～7
- 中枢神経疾患アプローチ特論の視聴覚教材作成, 2024. 10～12
- 義肢装具学（理学療法学専攻）の視聴覚教材作成, 2024. 10～2025. 1
- 成人中枢神経系運動療法学の視聴覚教材作成, 2024. 10～2025. 1
- 義肢装具学（作業療法学専攻）の視聴覚教材作成, 2024. 12
- 理学療法卒業研究 研究指導3名, 2024. 4～11
- 理学療法学研究法演習 研究指導3名, 2024. 7～2025. 3
- 理学療法士国家試験対策 ショートレクチャー（義肢装具学・中枢神経系）担当, 2024. 12
- 総合臨床実習Ⅰの実習訪問担当 2名, 2024. 4～5
- 総合臨床実習Ⅱの実習訪問担当 3名, 2024. 6～7
- 評価学実習の実習訪問担当 3名, 2025. 2
- 評価学実習実習報告会の運営, 2025. 3
- 臨床実習ワーキングでの実習内容の検討, 2024. 4～2025. 3
- 客観的臨床能力試験（OSCE）ワーキングでの企画検討, 2024. 4～2025. 3
- 客観的臨床能力試験（OSCE）の運営, 2024. 7, 12

2) 博士前期課程

- 臨床理学療法学特論の視聴覚教材作成, 2024. 5～7
- 臨床理学療法学特論演習の視聴覚教材作成, 2024. 10～12
- 博士前期課程 指導教員（2名）, 2024. 4～2025. 3

10. 学内各種委員会活動

- 1) 学部入試委員会, 2024. 4～2025. 3

15. その他

- 1) 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター非常勤職員

鈴木智高（大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務）

5. 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会, 新人教育部, 2010. 4～
- 2) 公益社団法人神奈川県理学療法士会, 横須賀・三浦ブロック会計, 2022. 4～

6. 社会貢献

- 1) SSH指定県立横須賀高校「PrincipiaⅡ」, 2024. 4～, 生徒 2 グループ（計 8 名）の指導
- 2) 教職員対象入試説明会 ACワーキング, 2024. 6. 26
- 3) 受験生対象入試説明会 ACワーキング, 2024. 7. 6
- 4) 県立横須賀大津高校 系統分野別ガイダンス, 2024. 7. 16, 「理学療法・作業療法」講師
- 5) オープンキャンパス 面談・体験ブース担当, 2024. 8. 3-4
- 6) ジュニアゼミナール 理学療法担当, 2024. 8. 7

8. 学会等での活動

- 1) （公社）神奈川県理学療法士会第1回神奈川県士会主催症例検討会 運営, 2024. 6. 16
- 2) （公社）日本理学療法士協会臨床実習指導者講習会 講師, 2024. 8. 30-31, 県立保健福祉大学
- 3) （公社）神奈川県理学療法士会横須賀三浦地区第 1 回研修会 運営, 2024. 10. 18
- 4) （公社）神奈川県理学療法士会第3回神奈川県士会主催症例検討会 運営, 2024. 12. 1
- 5) （公社）日本理学療法士協会臨床実習指導者講習会 講師, 2024. 12. 7-8, 横浜リハビリテーション専門学校
- 6) （公社）神奈川県理学療法士会横須賀三浦地区第 2 回研修会 運営, 2025. 2. 14

9. 学内教育活動

1) 学部

- 筋・骨格系機能障害評価学の視聴覚教材作成, 2024. 4-9
- 運動学演習の視聴覚教材作成, 2024. 4-9
- 動作解析学の視聴覚教材作成, 2024. 6-9
- 総合臨床実習Ⅰ実習地訪問、学生指導, 2024. 4-9
- 総合臨床実習Ⅱ実習地訪問、学生指導, 2024. 4-9
- 理学療法見学実習の視聴覚教材作成、学生指導, 2024. 4-9
- 理学療法卒業研究 学生指導, 2024. 4-2025. 3
- 運動学Ⅰの視聴覚教材作成, 2024. 10-2025. 3
- 運動学Ⅱの視聴覚教材作成, 2024. 10-2025. 3

臨床運動学の視聴覚教材作成, 2024. 10-2025. 3

理学療法学研究法演習の視聴覚教材作成, 2024. 10-2025. 3

理学療法学専攻国家試験対策ショートレクチャーの視聴覚教材作成, 2025. 1. 14

2) 博士前期課程

運動機能制御学特論の視聴覚教材作成, 2024. 6-9

10. 学内各種委員会活動

1) 研究科入試委員会 委員, 2024. 4-2025. 3

2) 時間割ワーキンググループ 委員, 2024. 4-2025. 3

3) アドミッションセンターワーキンググループ 委員, 2024. 4-2025. 3

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

1) 基盤研究 (C) , 代表者, 鈴木智高, 菅原憲一, 歩行中の注意負荷量に対応する歩行調節能力を指標とした転倒予防戦略の構築, 4, 030千円, 2021年04月, 2026年03月

2) 基盤研究 (C) , 分担者, 菅原憲一, 鈴木智高, 歩行速度調整メカニズムの解明と新たな歩行リハビリテーションプログラムの開発, 4, 680千円, 2023年04月, 2026年03月

15. その他

1) 湘南医療大学非常勤講師

2) 医療法人徳昌会あきやま医院非常勤職員

平瀬達哉（大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務）

2. 学術論文

- 1) 総説論文, 筆頭著者・責任著者, 平瀬達哉, 2024年04月, 日本語, 認知症および軽度認知障害高齢者に対する転倒予防対策, 査読なし, 日本転倒予防学会誌, 2024 Vol. 10, 46-55, https://doi.org/10.11335/tentouyobou.10.1_49

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 責任者, 石田咲瑛, 平瀬達哉, 運動器疾患を抱えた高齢入院患者における社会的フレイルと心身機能との関連性, 第11回日本予防理学療法学会学術大会, 2024年11月
- 2) 口頭, 責任者, 石田咲瑛, 平瀬達哉, 運動器疾患を抱えた高齢入院患者における退院時の運動の非定着化に影響する因子の検討, 第12回日本地域理学療法学会学術大会, 2024年11月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 一般社団法人日本ペインリハビリテーション学会, 理事, 2018. 10. 1～
- 2) 一般社団法人日本ペインリハビリテーション学会, 倫理委員会委員長, 2020. 10. 1～
- 3) 一般社団法人日本理学療法学会連合, 編集委員会編集委員, 2024. 8. 8～
- 4) 一般社団法人日本地域理学療法学会, 機関誌編集部編集委員, 2023. 4. 1～
- 5) 一般社団法人日本老年療法学会, 評議員, 2023. 12. 12～
- 6) 一般社団法人日本老年療法学会, 科学的介護推進委員, 2023. 7. 1～
- 7) 一般社団法人日本サルコペニア・フレイル学会, 評議員, 2024. 11. 1～
- 8) 一般社団法人日本サルコペニア・フレイル学会, 第12回学会大会実行委員会プログラム作成委員会委員長, 2024. 7. 2～

6. 社会貢献

- 1) オープンキャンパス PT専攻模擬講義担当, 2024. 8. 3～8. 4
- 2) 神奈川県足柄上地域における地域リハビリテーション推進事業の意見交換会座長, 2023. 4. 1～

7. 講演, 放送

- 1) 横須賀エフエム放送、高齢期におけるフレイル対策～リハビリテーションの視点から～, 2024. 10. 14
- 2) 株式会社gene、オンライン研修、介護予防領域におけるペインリハビリテーション, 2024. 5. 17
- 3) 医療生協さいたま生活協同組合、オンライン研修、高齢期における痛み対策の重要性, 2024

. 11. 20

- 4) 長崎県リハビリテーション支援センター、オンライン研修、転倒予防と早期発見のポイント, 2025. 2. 16

8. 学会等での活動

- 1) 第40回東海北陸理学療法学術大会 シンポジスト, 2024. 9. 7
- 2) 第11回日本予防理学療法学会学術大会 シンポジスト, 2024. 11. 9
- 3) 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会 プレコングレスセミナー講演, 2024. 5. 2
- 4) 第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会 座長, 2024. 6. 8
- 5) 第11回日本地域理学療法学会学術大会 座長, 2024. 11. 17

9. 学内教育活動

1) 学部

「日常生活活動学」における視聴覚教材の作成, 2024. 4

「日常生活活動学演習」における視聴覚教材の作成および演習指導, 2024. 10

「地域理学療法学」における視聴覚教材の作成, 2024. 4

「地域理学療法見学実習」における視聴覚教材の作成および実習前後学内セミナーの指導, 2024. 8

「理学療法研究法」における視聴覚教材の作成, 2024. 10

「理学療法研究法演習」におけるゼミ生指導, 2024. 10

「卒業研究」におけるゼミ生指導, 2024. 4

2) 博士前期課程

「臨床理学療法学特論」における視聴覚教材の作成, 2024. 4

「臨床理学療法学特論演習」における研究指導, 2024. 10

ヒューマンサービス特論演習」グループ討議発表の助言, 2024. 4

大学院生の指導教員, 2024. 4

10. 学内各種委員会活動

- 1) 大学院研究科運営委員, 2024. 4
- 2) 学内実習ステーション委員, 2024. 4

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究 (C), 代表者, 平瀬達哉, 運動器疼痛を抱えた高齢者の転倒予防介入戦略の開発とメカニズムに着目した効果検証, 4, 550千円, 2024年04月, 2028年03月

13. 受賞

- 1) 神奈川県立保健福祉大学, 学長表彰, 2025年03月

藤田 峰子 (大学院保健福祉学研究科兼務 保健福祉学部兼務)

1. 著書

- 1) 共著, 菅原憲一, 藤田峰子, 他, 2024年12月, 日本語, 標準理学療法学 専門分野 物理療法学 第6版, 第1章2: リスク管理、第2章6: 温熱療法の実習、第7章: 光線療法, 医学書院, 11-16、68-71、204-230

2. 学術論文

- 1) その他 (報告等), 共著者, 渡邊 恵, 長島俊輔, 玉川 淳, 加藤木真史, 岸川 学, 樋口良子, 池田公平, 藤田峰子, 長山洋史, 福岡梨紗, 志村華絵, 佐々木杏子, 森 朱輝, 高橋恭子, 五味郁子, 水戸優子., 2024年10月, 日本語, 保健福祉学部における多職種連携の推進を目的とした「教育用模擬電子カルテ」の導入と教育効果 : パイロットスタディ., 査読あり, 保健医療福祉連携誌, 2024 Vol. 17 (2), 127-137, 10.32217/jaipe.17.2_146
- 2) 原著論文, 共著者, 渡邊恵, 長島俊輔, 玉川淳, 加藤木真史, 福岡梨紗, 佐々木杏子, 池田公平, 樋口良子, 岸川学, 森朱輝, 長山洋史, 藤田峰子, 志村華絵, 五味郁子, 高橋恭子, 水戸優子, 2025年03月, 日本語, 「教育用模擬電子カルテ」を活用したIPE の実装と教育効果—紙カルテと電子カルテの事例提供方法の比較に基づく検証—, 査読あり, ヒューマンサービス学会誌, 2024 Vol. 2, 44-52
- 3) 原著論文, 共著者, Ikumi Watanabe, Mineko Fujita, Naoko Shimadu, Kengo Takashima., 2024年10月, 英語, Effects of muscle contraction induced by electrical stimulation on fascial gliding: Evaluation by ultrasonography, 査読あり, Journal of Bodywork and Movement Therapies, 2024 Vol. 40, 93-98, 10.1016/j.jbmt.2024.04.009

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 一般社団法人日本物理療学会, 理事・研究倫理委員会, 2019. 4. 1～
- 2) 公益社団法人神奈川県理学療法士会, 新人教育部長, 2022. 4. 1～
- 3) 日本物理療学会誌『物理療法科学』, 査読委員, 2022. 4. 1～
- 4) 神奈川県理学療法士会・会報『技術と研究』, 査読係, 2017. 4. 1～

6. 社会貢献

- 1) 広報企画担当, 2024. 4. 1～, 専攻の広報のためのグッズの管理、ロゴ入りユニフォーム作成を行った。
- 2) オープンキャンパス 企画運営担当, 2024. 8. 3. 4, 学生ボランティア募集から当日運営に関する全てに関し、広報企画担当として対応した。
- 3) 学科別説明会, 2024. 10. 19, オープンキャンパス同様、広報企画担当として対応した。卒業

生をスピーカーとして人選、依頼を行った。

- 4) 入試関連説明のため訪問, 2025. 1. 23, 霧が丘高校の分野別説明会で理学療法士の仕事についてプレゼンを行った。
- 5) 入試関連説明のため訪問, 2024. 10. 11&15, 横浜栄高校と松陽高校に訪問し、理学療法専攻の紹介を行った。
- 6) 老人クラブ連合会「令和6年度横須賀・三浦ブロックゆめクラブ大学」, 2024. 9. 17&24, 企画運営。

7. 講演, 放送

- 1) 神奈川県理学療法士会2024年度新人オリエンテーション「新生涯学習制度について」, 2024. 4. 28

9. 学内教育活動

1) 学部

客観的臨床能力試験（OSCE）のワーキング, 2019. 4～, ワーキングの責任者として、滞りなく実施ができるよう、課題の見直しや外部評価者への依頼などを実施した。

2年次必修科目「機能評価学演習」, 2017. 10～

3年次必修科目「物理療法学」, 2014. 4～

3年次必須科目「物理療法学演習」, 2014. 4～

3年次必修科目「循環器系運動療法学」, 2022. 4～

3年次必修科目「理学療法過程論」, 2014. 4～, 電子カルテを用いた模擬症例を用いた展開を実施した。

3年次必修科目「理学療法学研究法演習」, 4年次必修科目「卒業研究」における指導, 2017. 4～, 3名を指導した。

2年次必須科目「解剖学実習Ⅱ」, 2024. 4～, 神奈川歯科大学と本学の調整役として対応した。

3年次必須科目「小児中枢神経系運動療法学」, 2023. 10～, 非常勤講師科目の講義補助

2) 博士前期課程

大学院「臨床理学療法学特論」における講義および視聴覚教材作成. , 2013. 4～

3) 博士前期過程

大学院「臨床理学療法学「特論演習」における研究指導. , 2013. 4～

10. 学内各種委員会活動

- 1) 教務委員会, 2024. 4, 教務委員会において、内部質評価に関する資料の作成を担当した。
- 2) 研究委員会, 2024. 4, 規程の作成、研究費の使用とコンプライアンスに関するニュースレタ

一の作成などを担当した。

11. 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究（C），代表者，藤田峰子，山田拓実，高齢女性尿失禁者の骨盤底筋収縮を促通する干渉低周波トレーニングの開発，4,290千円，2020年04月，2027年03月

12. 学内研究助成金の受託

- 1) 学長推薦研究費，分担者，樋口良子，谷口千絵，藤田峰子，飯田綾香，中西朋子，鈴木志保子，学内実習ステーションを活用した「女性のための健康ラボ」によるセルフケア向上プログラムの開発について，500千円，2024年08月，2025年03月

浅井直樹

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 共同研究者, 横山哲也, 経塚愛以, 平松優香, 古屋美紀, 松田健太, 浅井直樹, 起立動作誘導スキルアップ器具の考案, 第38回リハ工学カンファレンス, 2024年08月
- 2) ポスター, 筆頭者・責任者, 浅井直樹, 松井伸子, 完全型脊髄損傷者におけるチェアスキー滑走動作の運動学的解析, 第59回日本脊髄障害医学会, 2024年11月
- 3) ポスター, 共同研究者, 古屋美紀, 浅井直樹, 横山修, 損傷高位直下の筋への促通を試みた完全型頸髄損傷症例, 第59回日本脊髄障害医学会, 2024年11月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) リハビリテーション工学協会, 協会誌編集委員, 2024. 4. 1～
- 2) 神奈川県理学療法士会, 生涯学習部副部長, 2024. 4. 1～

6. 社会貢献

- 1) 車いすツイインバスケットボールチームスタッフ (神奈川JUNKS, コーチ), 2019. 7. 1～
- 2) オープンキャンパス 会場準備, 個人面談, 座談会司会担当, 2024. 8. 3, 4
- 3) ジュニアゼミナール アシスタント, 2024. 8. 7
- 4) 学科別説明会 会場準備, 個人面談担当, 2024. 10. 19
- 5) 分野別説明会 (荏田高校), 2024. 11. 5
- 6) 出張講義 (生活介護WiSH, 「身体機能の考え方ー知的障がいのある方への支援」), 2024. 11. 27
- 7) オープンキャンパス 会場準備, 個人面談担当, 2025. 3. 27

7. 講演, 放送

- 1) 知的障がいのある方への支援 (神奈川県総合リハビリテーションセンター地域リハビリテーション支援センターリハビリテーション研修) 「身体機能の考え方ー知的障がいのある方への支援」, 2024. 10. 8
- 2) 神奈川県理学療法士会生涯学習部講習会「脊髄損傷理学療法の基礎」, 2024. 11. 24
- 3) 難病の支援と多職種連携について 【第1部】 パーキンソン病の初期段階について各専門職から (神奈川県総合リハビリテーションセンター地域リハビリテーション支援センター研修) 「リハビリ専門職が考える運動習慣の確立」, 2024. 12. 13
- 4) 学内研究発表会口演「頸髄損傷者におけるスポーツ活動を目指すための身体機能水準調査」, 2025. 3. 7
- 5) 第17回同窓会うみかぜ学術祭講演「キャリア構築から考える理学療法士のスキル」, 2025. 3

. 9

8. 学会等での活動

- 1) 第22回日本神経理学療法学会学術大会演題査読, 2024. 5. 30
- 2) 第22回日本神経理学療法学会学術大会講演「脊髄損傷後の理学療法評価」(教育講演「脊髄損傷」), 2024. 9. 29
- 3) 第22回日本神経理学療法学会学術大会講演「上肢機能とADL能力に関する臨床評価」(シンポジウム「頸髄損傷不全四肢麻痺者に対する臨床評価の標準化を目指す」), 2024. 9. 29

9. 学内教育活動

1) 学部

- 国家試験対策個人面接資料作成, 2024. 4
- 理学療法学専攻新年度オリエンテーション学生配布資料作成, 2024. 4
- 運動学演習の教材作成, 2024. 4
- 動作画像解析学の教材作成, 2024. 5
- 理学療法地域見学実習指導者会議資料作成, 2024. 5
- 理学療法見学実習前セミナーの教材作成, 2024. 6
- 理学療法地域見学実習前セミナーの教材作成, 2024. 6
- 中枢神経系機能障害評価学の教材作成, 2024. 9
- 国試対策ショートレクチャの教材作成, 2024. 11
- 臨床実習オリエンテーションの教材作成, 2024. 11
- 理学療法実習指導者会議資料作成, 2024. 11
- 機能評価学演習の教材作成, 2024. 12
- 筋骨格系運動療法学の教材作成, 2025. 1

10. 学内各種委員会活動

- 1) FD/SD委員会, 2024. 4
- 2) 入試採点委員, 2024. 4

11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 神奈川県理学療法士会研究助成, 代表者, 浅井直樹, 動作練習課題における至適難易度の推定指標の確立, 65000, 2024. 4. 1, 2025. 3. 31

12. 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 B (奨励研究), 代表者, 浅井直樹, 頸髄損傷者におけるスポーツ活動を目指すため

の身体機能水準調査, 471千円, 2024. 4. 1, 2025. 3. 31

13. 受賞

- 1) 第34回日本車いすツインバスケットボール選手権大会, 優勝, 2024. 6. 23, 神奈川JUNKSコーチとして
- 2) 平塚市, 令和6年平塚市スポーツ優秀選手表彰, 2025. 2. 11, 神奈川JUNKSコーチとして

15. その他

- 1) 東京工科大学非常勤講師
- 2) 神奈川県総合リハビリテーションセンター非常勤

小池 友佳子

4. 学会発表等

- 1) 口頭, 共同研究者, 山崎菜々子, 島津尚子, 小池友佳子, 理学療法士が装具療法の熟達に至る経験に関する分析—学習方法に着目して—, 第40回日本義肢装具学会学術大会, 2024年11月
- 2) ポスター, 共同研究者, 山崎菜々子, 島津尚子, 小池友佳子, 理学療法士が装具療法の熟達にあたり影響を受けた経験の分析—下肢装具作製時に着目して— (最終報告), 第13回日本支援工学理学療法学会学術大会, 2024年12月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会, 研究支援部員, 2024. 4. 1～

肥田直人

4. 学会発表等

- 1) ポスター, 共同研究者, 今野翔太, 榊原時生, 肥田直人, 山本直弥, 島津尚子, 菅原憲一, 長時間の機能的電気刺激の使用が回復期脳卒中患者の歩行および身体機能へ与える影響: 症例研究, 第22回 日本神経系理学療法学会学術大会, 2024年09月
- 2) 口頭, 筆頭者・責任者, 肥田直人, 菅原憲一, 脳卒中片麻痺患者の歩行時における重心の動的安定性の分析, 第22回 日本神経系理学療法学会学術大会, 2024年09月
- 3) ポスター, 共同研究者, 太田洸一, 肥田直人, 久保雅昭, Pusher現象を呈した症例に対して体圧分布センサーを使用した介入により座位保持が可能となった一例, 第 43回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 2024年10月
- 4) 口頭, 筆頭者・責任者, 肥田直人, 菅原憲一, 脳卒中片麻痺患者の前後左右方向の動的安定性の分析, 第45回臨床歩行分析研究会 定例会, 2025年02月

5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) バイオメカニズム学会, 歩行データベース研究部会メンバー, 2019. 5. 1～

8. 学会等での活動

- 1) 第45回バイオメカニズム学術講演会シンポジスト, 2024. 12. 7

9. 学内教育活動

- 1) 学部
筋骨格系運動療法学の教材作成, 2024. 9